

# 「防災」

## 生きること、まっとうに生きること

## 大学のあり方を考える

～学長企画YNUささらサロン～

YNUささらサロンは、文理融合・分野横断型研究を強化・推進するため、自由で横断的な研究交流を活発にする新たな取り組みです。教職員・学生皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



ささらとは・・・  
茶筌のように、竹の小筒のように、竹の小筒の節から先を細かく割って束ねた道具のこと。  
政治学者丸山真男が著書『日本の思想』（1961）で、「日本の総合大学は、今後は蛸壺型ではなく、分野の枠を超えて連携すると共に根底に哲学を持った発展が必要であり、ささら型への大学へ変わる必要がある」と述べている。

### - プログラム -

- 予想される国難級の大災害の実態と被害を軽減するための国土強靱化
- 嘘にまみれた情報と、近代文明の没落
- 教養の必要性、大学の役割
- 全学教育科目の役割
- まっとうに生きることとは
- 大学への提言

テーマは堅そうに見えますが清々しい議論にしたいと思います。奮ってご参加ください！

2019年2月22日(金)  
16:15～17:45

### 概要

大災害の頻発する我が国日本。南海トラフ地震や首都圏直下型地震による国難級の大災害の推計も土木学会の公式レポートにより公開されています。防災とは、大切な命や財産を守ること、すなわち生きること、生き抜くことです。もしくは、オルテガの言った大衆社会からの脱却、言い換えれば、まっとうに生きる生き方を取り戻すための戦いと考えたい。

今回は、秋学期の全学教育科目「土木史と文明Ⅰ,Ⅱ」(担当:細田)を受講した学生、聴講した事務職員も含め、左記の観点で複数の話題提供を行い、この国の将来、大学のあり方、大学教育のあり方について多角的に議論をすることを試みます。

運営リーダー

都市イノベーション研究院  
教授 細田 暁



会場：国際教育センター（S1-3）106教室  
対象：本学教職員・学生・参加自由・申込不要